原 稿 執 筆 の 手 引

1.原稿用紙

原稿はA4サイズで作成する．「原稿作成方法」のWordファイル（学会ウェブサイトからダウンロード可能）を用い，最終的な印刷原稿に近い形に作成する．作成後，PDF化したものを学会事務局宛に投稿申込書とともにE-mail添付で投稿する．ファイル容量がE-mail添付には大きすぎる場合は，大容量データ送信ツールやCD等の適当なメディアを利用して投稿する．原稿は，そのまま用いることが可能なように，図表の解像度には十分留意する．なお，これまでのような図表原稿の別途添付は不要．

掲載可となった際には印刷用Word原稿1部と確認用PDF原稿１部をE-mail添付にて提出する．容量が大きくそのまま添付が難しい場合は大容量データ送信ツールやCDなどを利用して提出する．

2.題目と著者名，Corresponding Authorの表記

1) 報文原稿の表題のあとに，氏名，勤務先（その研究の行なわれた場所）を明記しそのあとに，英字氏名，英字所属，英字題名，研究内容の英文抄録（約150語），キーワード（6語あるいは6句）を付ける．次ページには和文の要旨（400字以内），キーワード（6語あるいは6句）を書き，本文に続ける．

2) 研究速報，資料及び技術レポート原稿の表題のあとに，氏名，勤務先（その研究が行なわれた場所），英字氏名，英字所属，英字題名，キーワード（英文・和文を並べて記載）を明記する．
なお，英文抄録の付記に関しては，著者の自由裁量とする．

3) Corresponding Authorは氏名の右肩に#を付け，１ページ目下にE-mail addressを記載する．

3.本文

原稿の記載は次の形式による．

1) 原稿（和文又は英文）は横書きとする．論文の体裁は原則として次の順序による．

1. 緒言（研究の目的，論文の位置付けなど）
2. 理論・実験方法
3. 結果と考察
4. 結言（結論や展望）
5. 文献

2) 文章は当用漢字及び新仮名づかいを用いる．“句読点”及び“かっこ”などは1字に取り，改行の始めは1字空ける．

3) 外国語の地名，人名及び固有の名詞などは，原語又は“カタカナ”で書く．また訳語の紛らわしいものは原語を用いる．

4) 数字は次のように書く．67.82円　　2～3h　等
数式は，数式作成ソフトなどを用いて作成し，Wordファイル内に直接挿入する．

5) 物理の単位は国際単位（ＳＩ単位）を使用する．

m（メートル），㎜（ミリメートル），㎛（マイクロメートル），㎚（ナノメートル），㎟（平方ミリメートル），l（リットル），ml（ミリリットル），㎣（立方ミリメートル），ｇ（グラム：質量），㎏（キログラム：質量），ｓ（秒），min（分），ｈ（時間），Ｎ（ニュートンkg・m/s2），Pa（パスカル＝　Ｎ/㎡），Ｊ（ジュール），Ｖ（ボルト），Ａ（アンペア），Ｗ（ワット），rad（ラジアン），℃（セルシウス度），Ｋ（ケルビン），rpm（毎分回転数），pH（水素イオン濃度指数），RH（相対湿度），繊度：tex（テックス），dtex（デシテックス）

6) 図表は全て英文で書くことを原則とする．図表の幅は半段又は全段とする．Fig. 1，Table 1のように通し番号を付ける．写真もFigとして図と連続した番号を付ける．図の説明は図の下に，表の説明は表の上に9pt．で記す．説明文が1行に収まる場合には中央取りとする．説明文が複数行に及ぶ場合には，図表番号以降の説明文を両端揃えとする．なお，図表のタイトルや説明は，図表の画像に入れ込むのではなく，本文の中に記す．表には原則として縦線を入れない．表中の項目や数値で注釈を与えるものには上付き文字a），b）などを添え，注釈を表の下に一括して記す．
図表と本文の間には1行程度の空行を設ける．



Table 1 Yield of A

                 Yield(%)
Time(min)
             80℃   50℃   20℃

   1         82     32     12
   3          91     74     16
   5         92     88     32
   7         93     92     52

Fig.1 Time dependence of the Yield of A

7) 引用文献の書き方
雑誌名の略名は“Chemical Abstracts”並びに“日本化学総覧”に準ずる．
和文原稿の場合
(和文雑誌)　著者名[全員]；論文タイトル，雑誌名，巻(号)：始めの頁－終わりの頁（出版年）
(欧文雑誌)　著者名[全員]；論文タイトル，雑誌名，巻(号)：始めの頁－終わりの頁（出版年）
(図書の一部)　著者名[全員]；章のタイトル，“ 書名” (版表示)，編者名，出版社，出版地，

始めの頁－終わりの頁（出版年）

例：
(和文雑誌)　消費花子，消費太郎；日本人の生活について，繊消誌，46(1)：1300-1310（1995）

(欧文雑誌)　Teitlebaum, A. and Goldman, R.; Increased Energy Cost with Multiple Clothing Layers, J. Appl. Physiol., 32(6):743-751 (1972)

(和書の一部) 消費花子，消費太郎；日本の消費動向について，“日本人の生活”（第2版），天満次郎 編，消費出版社，大阪，p.30-40 (1995)

(洋書の一部) Teitlebaum, A. and Goldman, R.; Increased Energy Cost with Multiple Clothing Layers, “Annual Review of Clothing Science” (2nd ed.), Shohi Hanako ed., Shohi Press, Osaka, p.56-67 (2005)

(オンライン文献)　著者名；“ウェブサイトの題名”，更新日付，入手先（入手日付）．ただし，更新日付は必須項目ではないが，画面に表示されている場合はなるべく記述すること．

英文原稿の場合

和文雑誌　図書名はそのままローマ字綴りとし，その他については和文原稿の場合に準ずる．

例：

Shohi H. Japanese Life-styles (in Japanese). Nihon Kasei Gakkaishi (J. of Home Econ.Jpn.), 46 (1): 13-20 (1995)

Kasei H.; Kaseigaku Yogo Jiten, Asakurashoten, Tokyo, p.500-501(1993)

4.投稿規定に沿わない場合は，受理できない場合がある．

2010. 1. 1

2012. 1.15改訂

2013. 9. 7改訂

2015. 1.31改訂

2018. 3.29改訂